

大 学 史 研 究 通 信

第 102 号 2021 年 6 月 15 日 (火)

大学史研究会

第 102 号の内容：会員情報・新入会員自己紹介・新刊紹介・2021 年度会費納入のお願い・2021 年度大学史研究セミナーの開催方針について・『大学史研究』編集委員会からのお知らせ・運営委員会からのお知らせ・退会者の報告・編集後記・大学史研究会事務局員一覧

会 員 情 報

新入会員（申込順）

大矢 龍矢 会員（学生）

所属：広島大学大学院人間社会科学研究科

博士課程後期教育科学専攻 教育学プログラム教育学コース

川崎 成一 会員（学生）

所属：東京大学大学院 教育学研究科

日永 龍彦 会員

所属：山梨大学 大学教育センター

菅原 慶子 会員

所属：東京大学

岩垣 真人 会員

所属：沖縄大学 経法商学部経法商学科

伊藤 彰浩 会員

所属：西南学院大学 外国語学部

坂内 夏子 会員

所属：早稲田大学 教育・総合科学学術院

異 動（届出順）

阿曾沼 明裕 会員

新所属：東京大学大学院 教育学研究科

林 透 会員

新所属：金沢大学 教学マネジメントセンター

和崎 光太郎 会員

新所属：東京福祉大学 保育児童学部

新入会員 自己紹介

大矢 龍矢 会員

このたび入会させていただきました広島大学大学院博士課程後期所属の大矢龍矢と申します。教育史、教育学の立場で19世紀フランスの学生を研究テーマとしております。修士論文では、地方都市トゥルーズを対象地域として地方新聞や慈善事業団体の報告書を史料に、19世紀中頃に時期を限定して、ファキュルテの学生たちの生活がどのようなであったのかの一端を明らかにしました。今後は、具体的な問いにはまだなっておりませんが、引き続き彼らの学生生活の様子を描きながら、彼らのその後にどのような影響があったのか、社会とどのような関係性があったのか、といったことを検討できたらと考えております。ご指導・ご鞭撻賜ることができればと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

川崎 成一 会員

この度、大学史研究会に入会をさせていただきました川崎成一と申します。一貫して高等教育機関の経営行動と財政・財務との関係性について関心を持っています。一時期は、私立大学の沿革史を大学図書館はもちろん、野間教育研究所や私学事業団（私学情報資料室）にも足を運び、読み漁りました。しかし、残念ながら、沿革史は、所詮バイアスのかかった二次資料。いつかは、戦前・戦間期の一次資料（特に財政・財務データ）を思いっきりいじり、大学経営の生の姿に迫ってみたいとの稚拙な夢を持っています。難しいとは思いつつも、今後、大学史研究会の先生方のご指導をいただきながら、研究をより一層進化させていければと考えております。何卒よろしくお願い申し上げます。

日永 龍彦 会員

このたび入会いたしました日永龍彦と申します。現在、山梨大学大学教育センターに専任教員として所属し、学長補佐、キャリアセンター長やIR室長を兼務させられておりますので、もっぱら学内運営の仕事に追われ、なかなかまとめた研究活動ができない状況です。ただ、前職の大学基準協会事務局職員時代に同協会の55年史編纂事業に携わった頃から戦後の大学改革に興味を持ち、大学の設置認可制度やアクレディテーションの導入過程などについて少しずつ研究を進めてきました。その後、当時の日本と米国統治下の琉球との異同や、両地域における大学と社会との関係などにも興味を広げ、資料収集を続けています。時間を見つけてまとめる作業を進めたいと思っていますので、今後当研究会の会員の皆様にご指導いただける機会を作っていければと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

菅原 慶子 会員

このたび入会させていただきました菅原慶子と申します。3月に東京大学大学院教育学研究科博士課程を修了したばかりで、学位論文では、日本における大学と社会との関係の源流を、明治期の高等教育機関における学術普及活動に着目して検討いたしました。「大学とは何か」という問いを探るべく、様々な方向から挑戦してまいりたいと考えております。皆様のご指導を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

岩垣 真人 会員

はじめまして。沖縄大学経法商学部に所属致します、岩垣真人と申します。専門は憲法学です。もともとは、フランスにおける財政の法的統制について研究をしておりました。2017年、沖縄に赴任して以来、沖縄に関する研究にも手を付けるようになり、その一環として、戦後、米国施政権下の沖縄における高等教育制度の展開について、勉強させて頂いております。特に、米国民政府の下、「日本」と比較すると、どう異なった大学観をベースに琉球大学が設立されたのか、また、そこで展開された法学教育にはどのような特殊性があるのか、さらに、法曹養成機能（大学を卒業し、弁護士事務所で2年間勤めると弁護士資格等を得ることができました）を果たすことがどのように意識され、教育が行われてきたのか、などに関心があります。高等教育についても、大学史についても、（そして憲法学についても・・・）不勉強なばかりで恥ずかしくなりますが、ぜひ皆さまのご指導を仰げればと存じます。どうぞ、よろしくお願い致します。

伊藤 彰浩 会員

このたび入会いたしました西南学院大学（福岡市）の伊藤彰浩と申します。

私の専門は応用言語学です。特に日本人英語学習者による関係節や wh 疑問文の習得研究と言語テストの構築に興味を持っております。出身は愛知県で地元と広島県で学生時代の大半を過ごしました。教育学部・教育学研究科で学んだため、若い頃から高等教育研究には興味がありました。

ここ数年、勤務先で学部長や法人の評議員として仕事をする中で、キリスト教主義大学の歴史や法人組織のガバナンスの変化に関する文献にふれることが増えました。そして、昨年より私立大学の寄附行為の通時的分析や比較を行っています。また、日本と米国のキリスト教主義大学の世俗化の問題についても関心をもっています。

大学史に関係する論文や資料を探す中で、大学史研究会の存在を知りました。事務局、運営委員会の先生方のおかげで入会できました。心より御礼を申し上げます。これから大学の歴史に関する知識を深めるとともに、自分自身の研究も丁寧に進めていきたいと思っております。末長くご指導よろしくお願い申し上げます。

坂内 夏子 会員

このたび入会させていただきました坂内夏子と申します。専門は社会教育・生涯学習です。生涯にわたる教育と就労との往復を意味する、リカレント教育、社会人の学び直しは国家的課題の一つになって久しいですが、現状はどうか気になります。大学改革、生涯学習の推進において、大学と社会の関係、大学開放とは何かが問われてきました。そこで、日本の大学開放の歴史的系譜（官学・私学高等教育機関等）を理解しながら大学開放の可能性を考えること、また1960-70年代の大学批判、学問批判運動をふりかえってみたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

<異動に伴う会員情報更新の届出をお願いいたします>

所属や住所等に変更のある会員は、事務局までご一報ください。ホームページ掲載の「事務局連絡先」フォーム、あるいは年会費払込票（郵便口座）の「通信欄」を利用することも可能です。また、今後は会員の皆様への連絡を、「通信」と併せてメールで配信していくことも検討しております。事務局へのご登録が旧アドレスのままの方や、メールアドレスの登録をされていない方はご連絡いただきますよう、ご協力をお願いいたします。

（会員情報担当：浅沼薫奈）

新刊紹介

福留東土・戸村理・蝶慎一編『教養教育の日米比較研究』広島大学高等教育研究開発センター
高等教育研究叢書 158 号, 2021 年 3 月

伊藤彰浩『戦時期日本の私立大学 成長と苦難』名古屋大学出版会, 2021 年 4 月

寺崎昌男『大学研究の六〇年 (評論社の教育選書 34)』評論社, 2021 年 4 月

安原義仁『イギリス大学史 —中世から現代まで—』昭和堂, 2021 年 6 月

追記：新入会員の伊藤彰浩会員（西南学院大学）と新刊紹介の伊藤彰浩会員（名古屋大学）
は同姓同名の別人であることを申し添えます。

2021 年度会費納入のお願い

今年度の年会費納入についてお願いのご連絡を申し上げます。大学史研究会の実収入は、
会員各位からの年会費に大きく依っております。会員の皆様の円滑な研究会運営へのご協力
に感謝を申し上げます。引き続き、大学史研究会の発展と円滑な運営のため、会員各位のご
理解ご協力をお願い申し上げる次第です。年会費の納入の詳細につきましては、同封の納入
依頼通知をご覧ください。

年会費は 5,000 円です。なお、大学院等在学生各位には、「院生・学生会費」として 3,000
円が適用されております。また、過年度分年会費未納の会員には、未納年度と本年度会費分
を含めた金額総計を通知しております。年会費を 3 ヶ年度分以上滞納されている会員には、
研究会の継続参加のご意志を年会費納入によって確認できるまでは、大学史研究会からの諸
連絡、「研究通信」、「大学史研究」（紀要）等の発送の停止が決定しております。該当する
会員へのご連絡通知には、これに関する事項が記載されておりますのでご留意願います。な
お、本依頼通知発送と入れ違いに年会費を納入いただきました場合には、何卒ご容赦のほど
お願い申し上げます。

—— 年会費納入払込先 ——

郵便振替口座：大学史研究会 口座番号 00120-3-47583

または

銀行口座：大学史研究会 三井住友銀行 池袋東口支店（店番 671）
普通預金（口座番号 3456109）

（会計担当：山崎慎一）

2021 年度大学史研究セミナーの開催方針について

2021 年度の大学史研究セミナーは、コロナ感染症の状況に鑑みまして、オンライン（Zoom 利
用予定）で、12 月開催予定です。今年度のシンポジウムは「大学と戦争」です。報告・コメン
テーターの先生方との調整を進めております。自由研究発表の募集、総会も含めた日程・プロ
グラム等の詳細につきましては、[次号通信及び研究会 HP](#) 等にてご報告させていただきます。
今しばらくお待ちください。

（セミナー担当：山本尚史）

『大学史研究』編集委員会からのお知らせ

すでに会員のお手元に届いている通り、2021年3月に前編集委員長羽田貴史会員の下で、『大学史研究』第29号を刊行しました。29号では、第42回セミナーでシンポジウムを開いた「大学と宗教」に加えて、紀要独自の特集として「専門教育の大学史」を組みました。各特集で、趣旨説明を合わせて各4本の論考を掲載しています。研究ノートとして2本の投稿論文を掲載し、さらに、史料紹介と書評を1本ずつ掲載しています。この場をお借りして、寄稿いただいた皆様に改めて御礼を申し上げます。

新編集委員会では現在、第30号の刊行に向けた作業を進めています。投稿希望を3月末に締め切りましたが、多くの投稿希望をお寄せいただきました。論文の掲載本数に制限は設けておりませんので、編集委員会が嬉しい悲鳴をあげられるよう、多くの優れた論文の投稿を楽しみにお待ちしております。早目に30号を会員の皆様にお届けできるよう、編集作業を進めます。次号以降を含め、引き続き、会員の皆様からの投稿やご提案をお待ちしています。

(編集委員長：福留東土)

運営委員会からのお知らせ

昨年度に引き続き、今年度も大学史研究セミナーはオンライン開催となります。つきましては総会もオンライン開催といたします。例年の総会の通り、会務報告、決算報告、予算案の審議に加えて、以下についてご審議、ご承認をいただく予定にしております。

- ・2021-22年度の運営委員選出
- ・運営委員会の選出等に係る内規（2023年度以降の選出方法）

運営委員の選出に当たっては、事前に立候補を受け付けるとともに、推薦委員会（昨年度総会で選出）による推薦名簿を総会に提出し、総会においてオンライン投票を実施します。なお報告部分は事前に通信、メール等にてお知らせするようにして、オンライン総会ではできる限り短時間で、充実した意見交換・審議ができるよう準備を進めたいと思います。

(運営委員会代表／事務局長：深野政之)

退会者の報告

2021年3月末をもって、次の方が退会されました。本会の活動にご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます（届出順）。

向井一夫 会員

永田英明 会員

編集後記

新しく会員になられた方・異動された方が多く、コロナ禍においても大学史研究が活発になっていることを感じます。今年度の大学史研究セミナー開催に向けて、わくわくしながら、鋭意準備中です。

『大学史研究通信』第102号の編集は事務局・山本尚史が担当いたしました。
連絡先：hi-yamamoto@chikushi-u.ac.jp

『大学史研究通信』第103号は、2021年9月発行予定です。

大学史研究会事務局

〈事務局連絡先〉

〒591-8531 大阪府堺市中区学園町1-1

大阪府立大学高等教育推進機構 深野政之気付 大学史研究会

Tel. & Fax.: 072-254-9548 E-mail: fukano@daigakushi.jp

ホームページ: <http://daigakushi.jp/>

事務局へのお問い合わせは、なるべく下記代表Eメールアドレスまでお願い致します

E-mail: jshshe@daigakushi.jp

研究会運営委員／事務局員一覧（五十音順）

浅沼 薫奈	(大東文化大学)	岡田 大士	(中央大学)
蝶 慎一	(広島大学)	深野 政之	(大阪府立大学)
船勢 肇	(長崎女子短期大学)	山崎 慎一	(桜美林大学)
山本 尚史	(筑紫女学園大学)		